

【第7号】

みんなで育む・感じる・発見する縄文のふるさと

国史跡下布田遺跡 史跡整備ニュースレター

令和8年3月24日発行
刊行物登録番号 2025-236

調布市郷土博物館文化財係

☎042-481-7656

✉kyouhaku@w2.city.chofu.tokyo.jp

ガイダンス施設の工事が始まりました!

令和8年1月から（仮称）下布田遺跡ガイダンス施設工事が始まりました。今年度は建物の基礎部分の工事を行っています。今年の12月に建築工事が終了する予定です（供用開始は令和9年度以降を予定しています）。



（仮称）下布田遺跡ガイダンス施設 基礎工事施工状況

ガイダンス施設は、下布田遺跡の国指定史跡としての価値が理解できる展示室のほか、体験学習や講座などが実施できる体験学習室、来館者それぞれの興味・関心によって理解を深めることのできるライブラリーを設置する予定です。開園後は史跡見学や活用の拠点、史跡ボランティアの活動場所として活用していきます。



（仮称）下布田遺跡ガイダンス施設外観イメージ図

❀ご協力ありがとうございました❀

下布田遺跡の史跡整備事業には、公共設備の整備、適切な維持保全を推進するために活用する「公共施設整備基金」を活用しています。本基金には、令和5年度に市立布田小学校児童有志の皆さまが下布田遺跡整備のために、募金活動を行ってくださり、寄付いただいたお金を積み立てています。令和7年度の史跡整備事業にはこの基金を活用しております。布田小学校の児童の皆さまはじめ、ご協力いただきました皆さま、どうもありがとうございました。

地域の皆さまに愛され親しまれる史跡及び施設を目指して整備工事を進めてまいります。

下布田遺跡史跡ボランティア準備会を開始しました！

史跡整備に市民意見を反映させることを目的として実施してきた市民ワークショップについて、工事の段階に入ったことから、より具体的に目的を持った活動としていくため、令和7年度から史跡ボランティア準備会へ移行しました。竣工予定が令和9年度に迫る中で、開園後の史跡ボランティア活動内容や体験プログラムを実践しながら検討していくという取組です。

現在、オリエンテーションを受講した約30名の方に登録いただき、各種活動に取り組んでいただいています。

自然環境保全・縄文体験・史跡ガイド班で各種取組を行っています。

ボランティア準備会の活動内容は、将来の史跡公園の運営・普及活用などで必要な取組として、史跡の除草、植栽管理など史跡環境保全活動と、体験を通して史跡への理解を深める縄文体験学習、史跡・展示解説により史跡の魅力を伝える史跡ガイド等の検討を行っています。令和7年度は、体験プログラム化を目指している縄文土器作りや、クラフト工作を行ったほか、史跡内で実施しているヤギ除草の見守り活動や、史跡内の除草活動等を行いました。

下布田遺跡史跡ボランティア準備会の取組実績

回	開催日	内容	参加人数
1	4/20	オリエンテーション	25人
2	5/18	令和7年度の活動検討	17人
—	5/18 他	ヤギふれあい体験学習の実施	のべ29人(453)
—	6/22	追加オリエンテーション	3人
3	7/27	縄文土器作り(粘土作り)	19人
4	9/28	縄文土器作り(土器成形・施文)	18人
5	10/4	文化財講演会「縄文カレンダーの再構築」・成果発表会	17人(40)
6	1/25	伐採木でクラフト工作	17人
7	3/15	令和7年度活動の振り返り・来年度の活動検討	17人

() 内数字は一般参加者

9/28 縄文土器作り (土器成形・施文)

下布田遺跡出土土器を見本として縄文土器作りを行いました。皆様、熱心に土器を制作しました。



6/22 ヤギふれあい体験学習

令和4年から継続しているヤギ除草と合わせて実施しているふれあい体験学習の来場者対応やヤギの見守りをしました。

